幸未美
歌重
初編下

假名
太閤
初編上

假名よみ太閤

有人録

初編上

A600
1

加藤清正

出陣記

初海上之巻

山崎有人孫

孟富亭虎重

木宗板

辛未春

48-7592

昌盛法師天女を祈ふ起りて

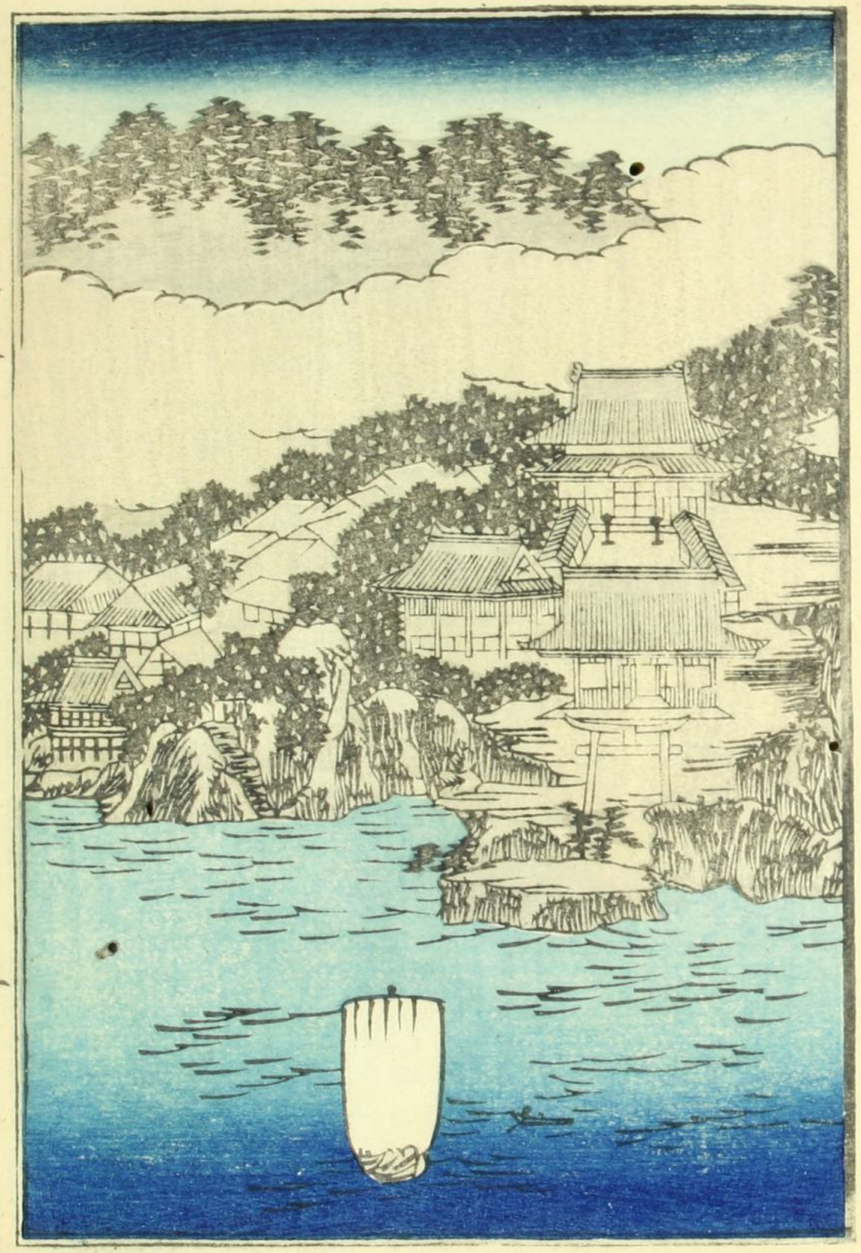
藤吉郎冨士川の初陣逝を説く

己が幼なる頃ふ祖父歎息して予ふ云らく僕育往古ハ八幡ゑのを一世の智将爲朝ぬ〜を古今の英雄とおがえらしも今ハそや義經朝臣ふむさし坊を智勇の将と唱ゆるなんど後生おそろ漢信ゞかゝ故吏ゆゞを話説すと云しも今ハ事經て智将豊公勇士ハ清正と扇の丈夫子供衆も法合点ゆるよろ豊公ゞ一世の挙動不思義の昇雲を例の假名文ふ綴ゆして尚吏跡を娄う せんとて書房ゞ例の姥女ふ初集せかくのごとくにこそ

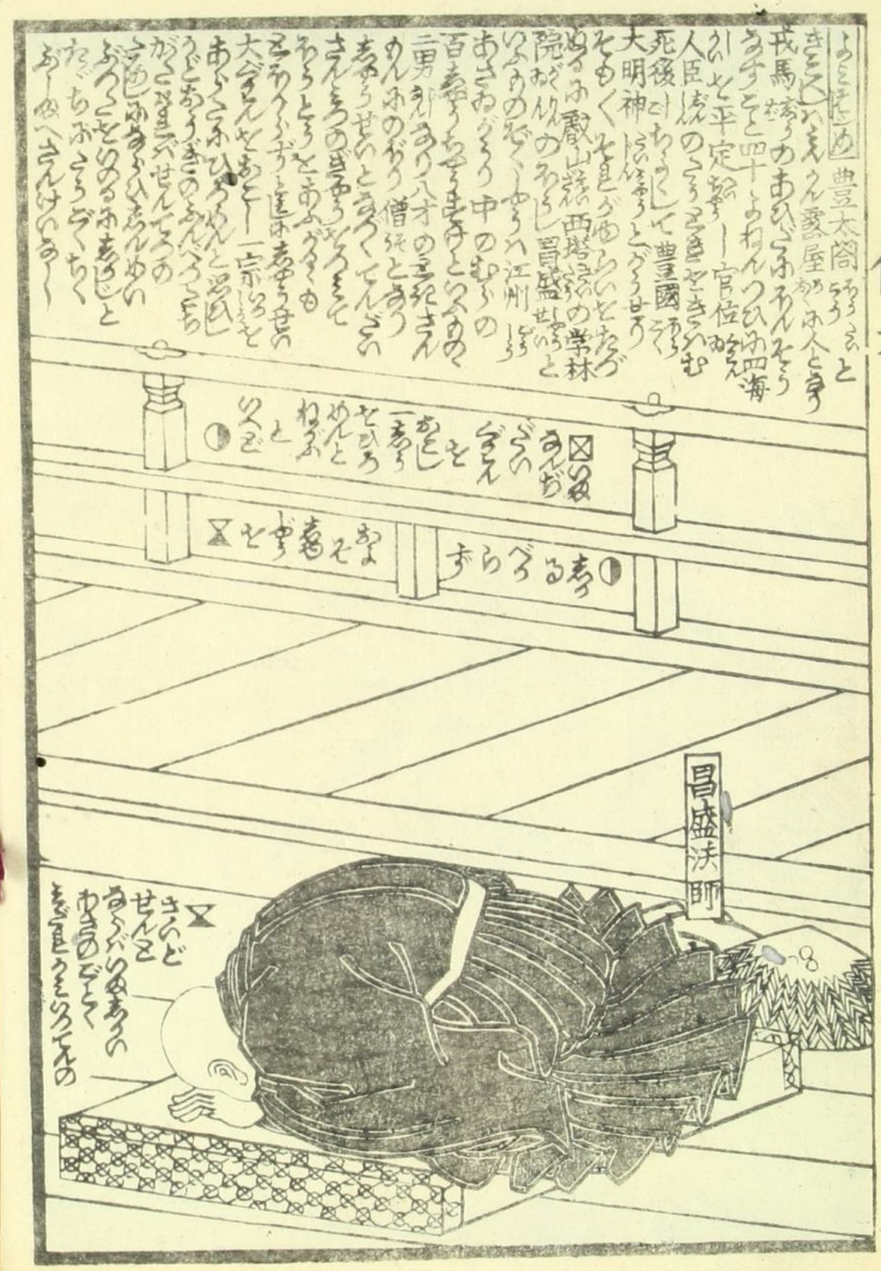
辛未春　弄月亭有人記

正二位右大臣
小田信長像

木下藤吉郎之像

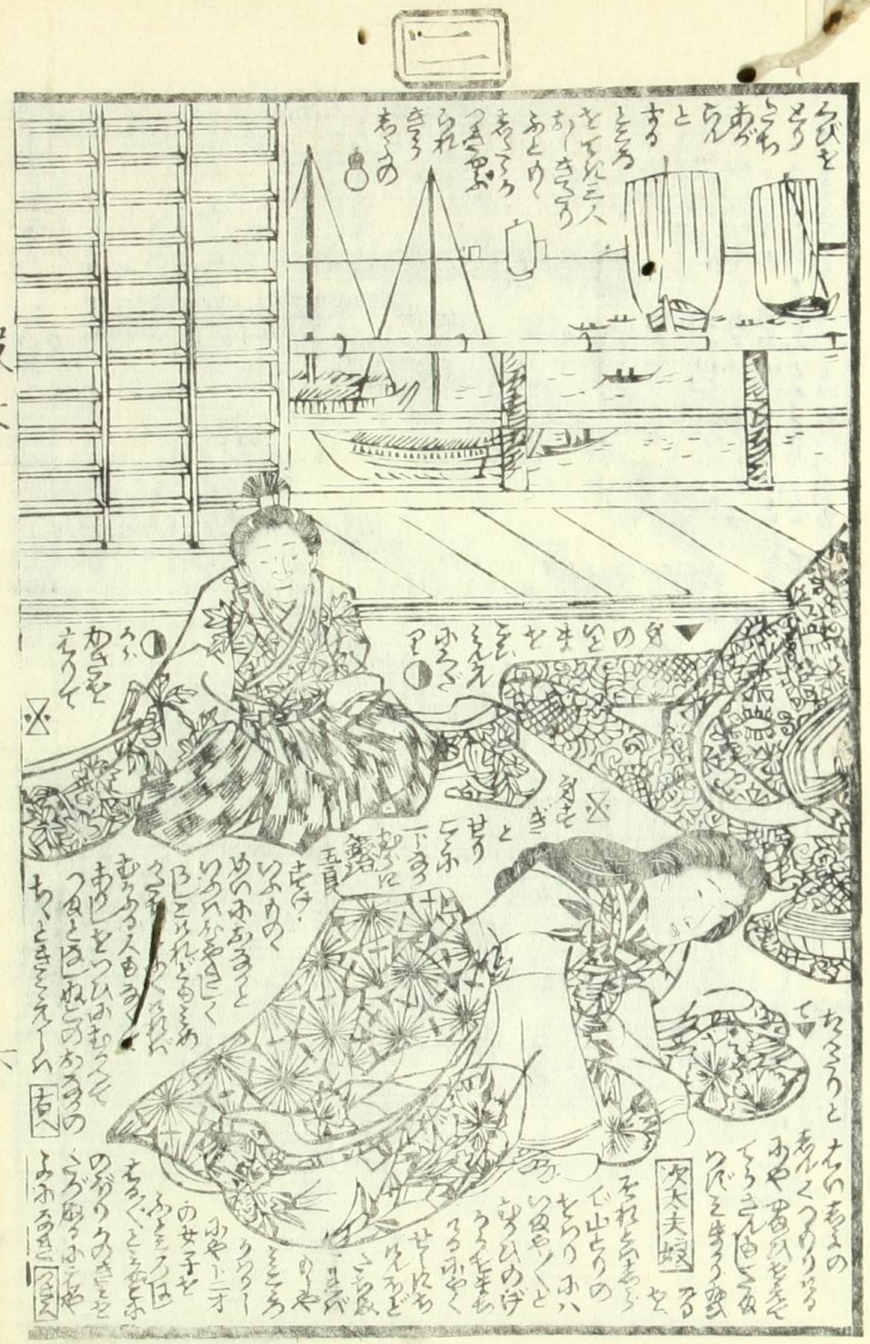


江湖竹生島之圖


昌盛法師

中村弥助國吉

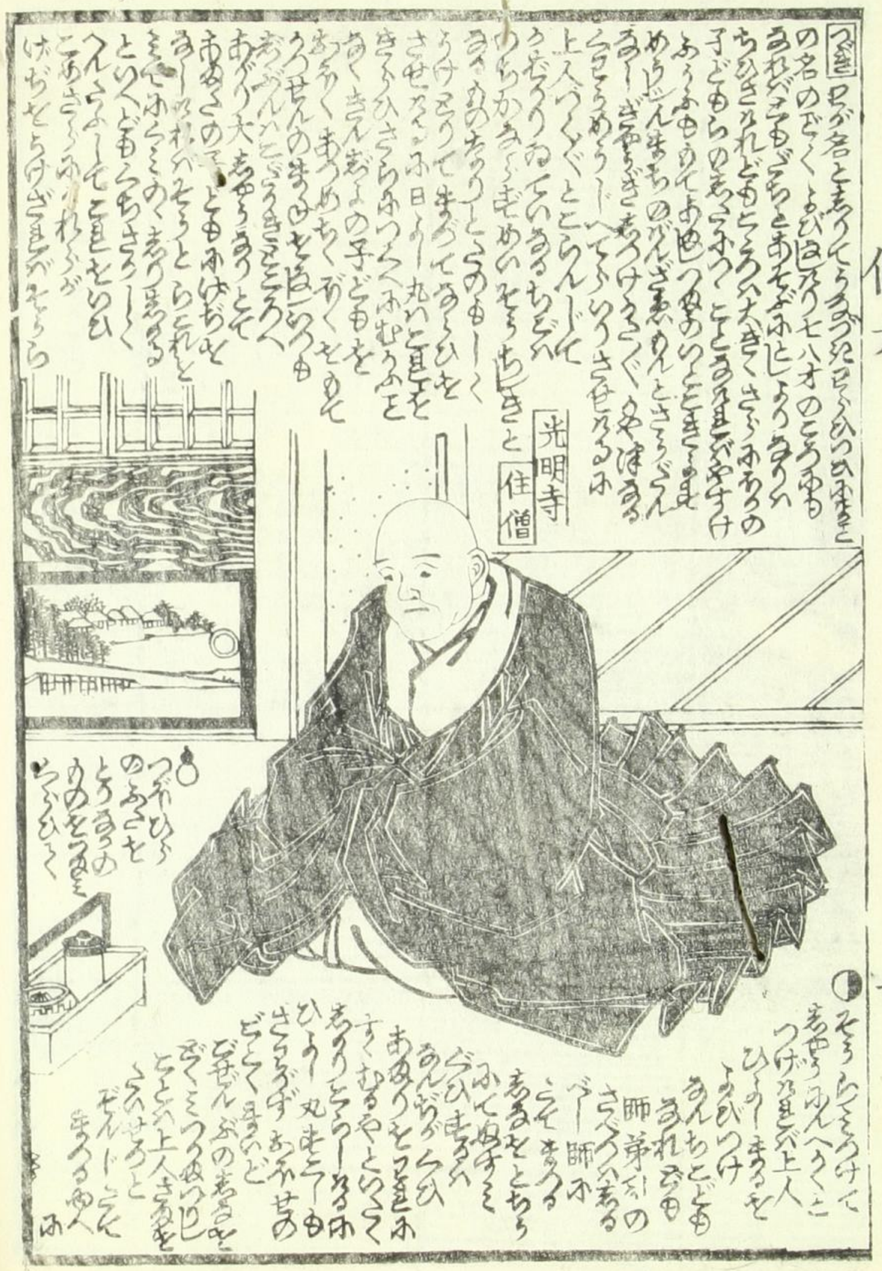
女房たち



持萩中納言

女子
安右衛門
五郎兵衛
与助

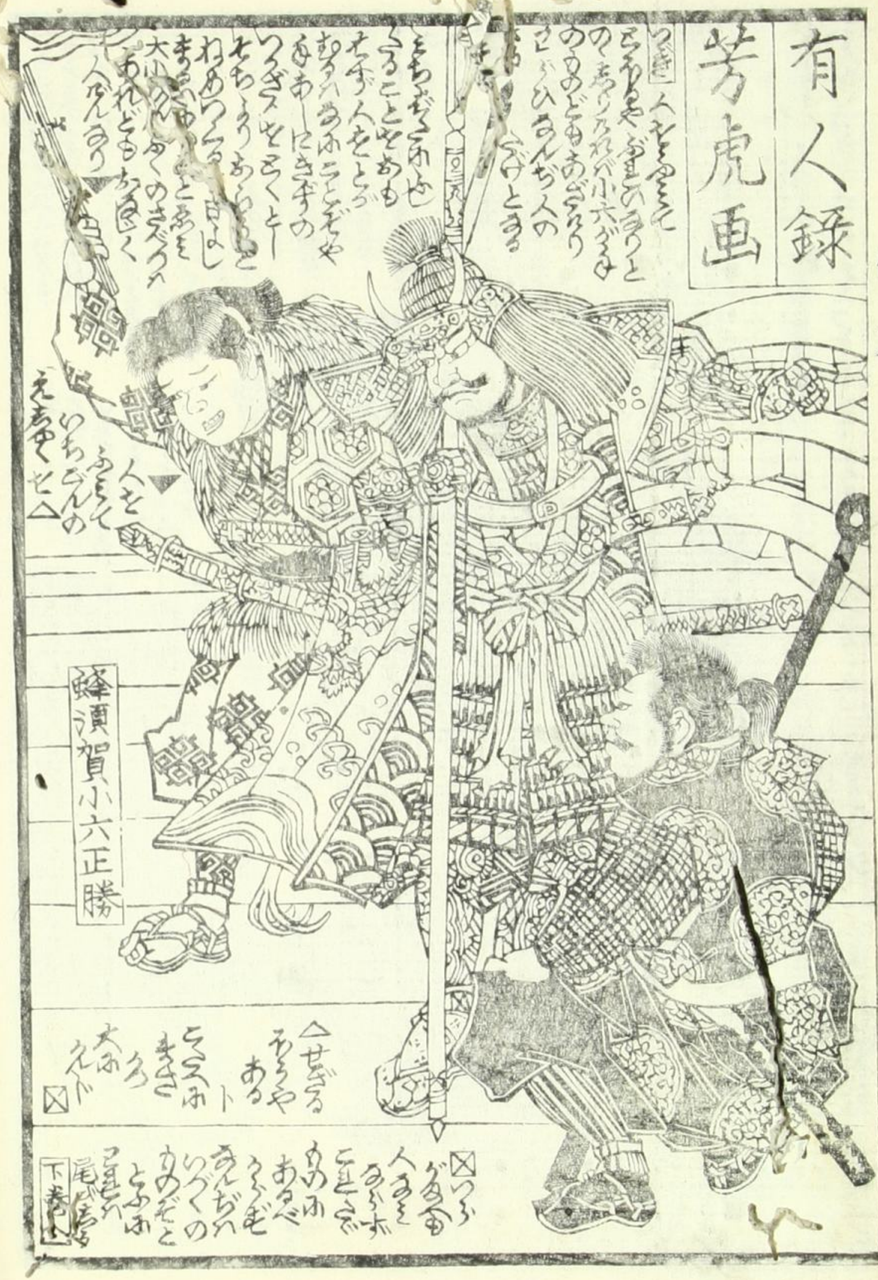
日は丸


光明寺
住僧

日吉丸
源左衛門

日吉丸
ちご

日吉丸



新刻目録

水滸傳正本製　初編分　文亭梅彦作　追々出板　一鶯齋國周画

梵字滝奇験利劔　初篇　爲永春水合作　追々出板　山々亭有人作　錦朝楼芳虎画
一名成田利生記

假名讀太閤記　初編分　山々亭有人作　追々出板　錦朝楼芳虎画

地本草紙問屋　馬喰町四丁目　紅木堂木屋宗次郎

010190518600

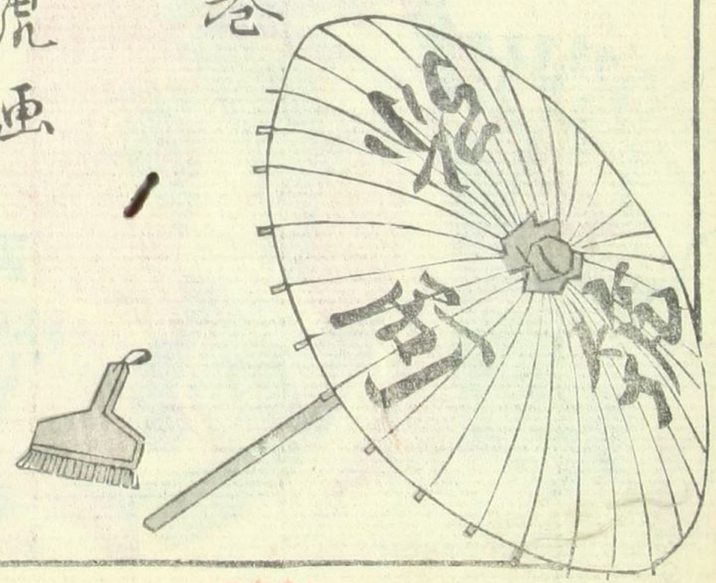
幸未奈
初編下

A 600
2

百奈讀
太閤記

初編下之卷

山崎育人 編
狩野樗雄 虎画
木宗板



48-7593

つぎ　きさろうあるよまくふらち　☒おふとしてあらまじやとろふは
りりてきさくきのなかこれぬぎ　日吉丸のいらく〻を見じなかと
ありとありてたるが日よ〜　ふたのおぬちあらんとこをあや
丸をなんしるひぬきさろう　あらんとこをあや　ぶこうぎまりて
うのさろ〜てあざのひゆとく　ぶこうぎまりて　えめぐる
らまこくふんゆらとらうあ〜　うち❶
いやようろうそえ〜きろふ
いざさんやすとさろうふ〜そ
ひねごらんやつぐせんと
ひやうきまるとろく
のそくとのぞ
きろうろうば☒

❶人ゐろくらやきろうのぐれ
ぐらぬぐ大きろ石をとろて
井戸のうちへなげ入れ

❶こゑをあげてさけぶちとろ人〻ゑ井のもとゑまつめの
きろうしろへそのひゑふまろふめんをらぐろうとろく
ゑ見べきさろうまちめそのろうりのもさいちのうみ〜ふ
ちろをきろうくうん〜ろる小六きさろうは日吉丸ろ

日吉丸

勘兵衛

日吉丸

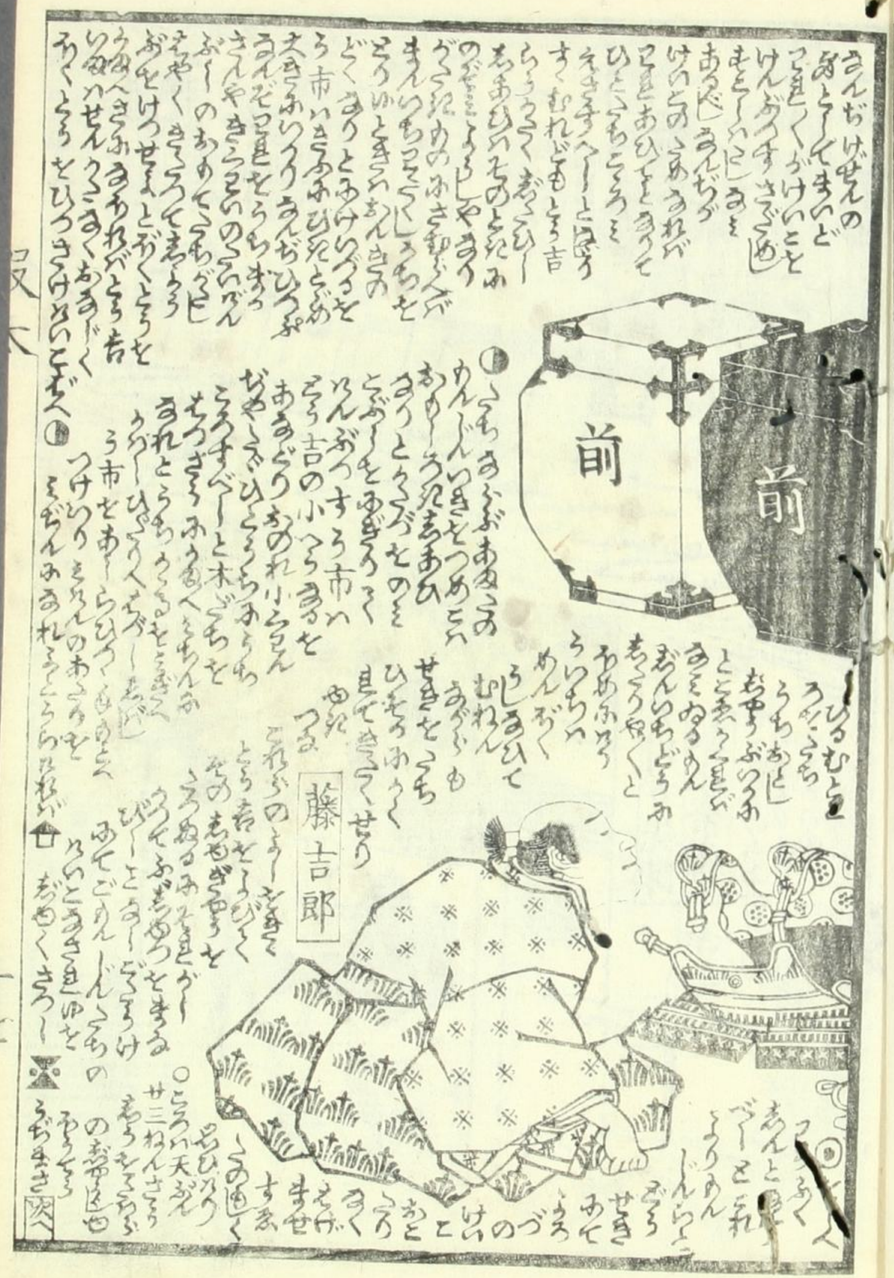
右華役
役人

松下嘉兵エ
日吉丸
順光坊

中村藤吉郎

川島宇市

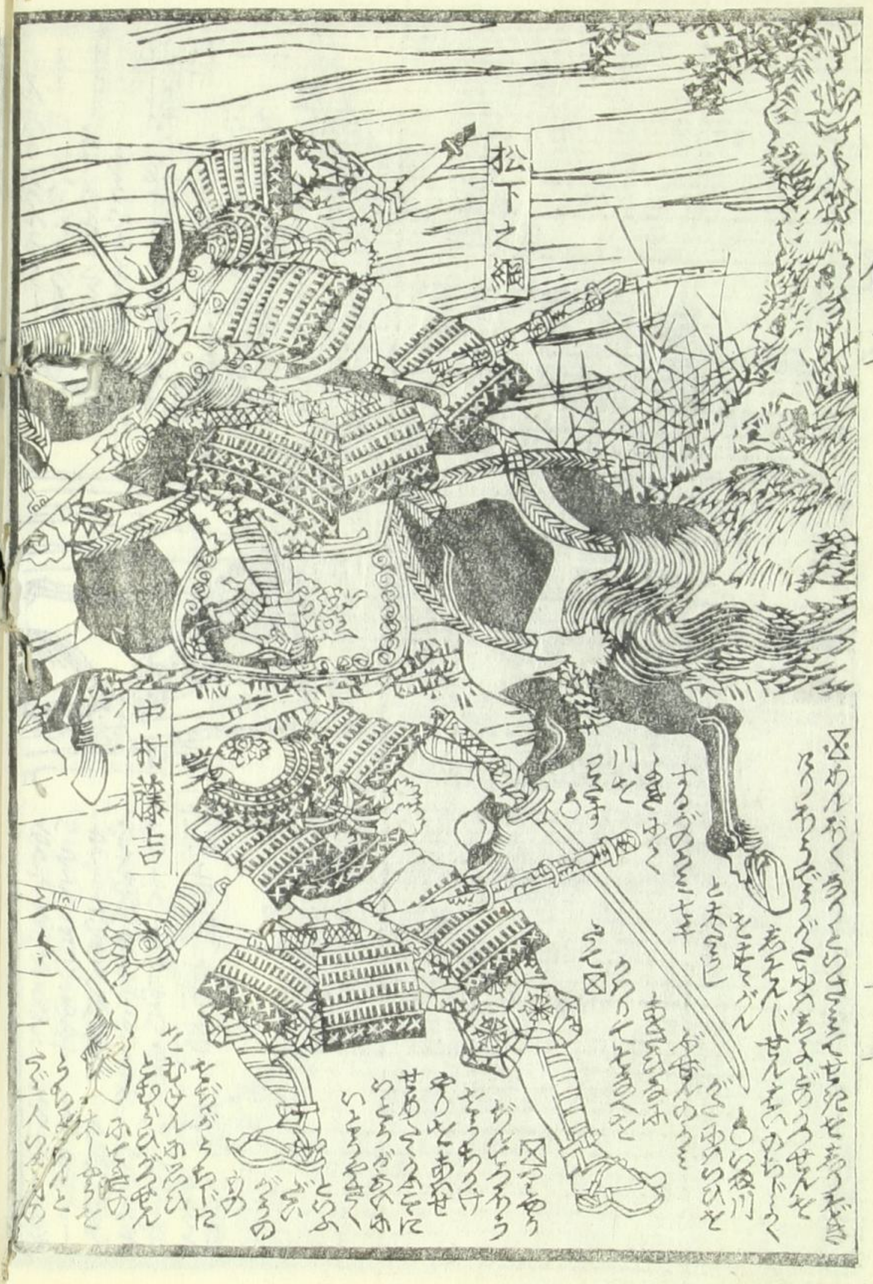
石堂


前
前
藤吉郎

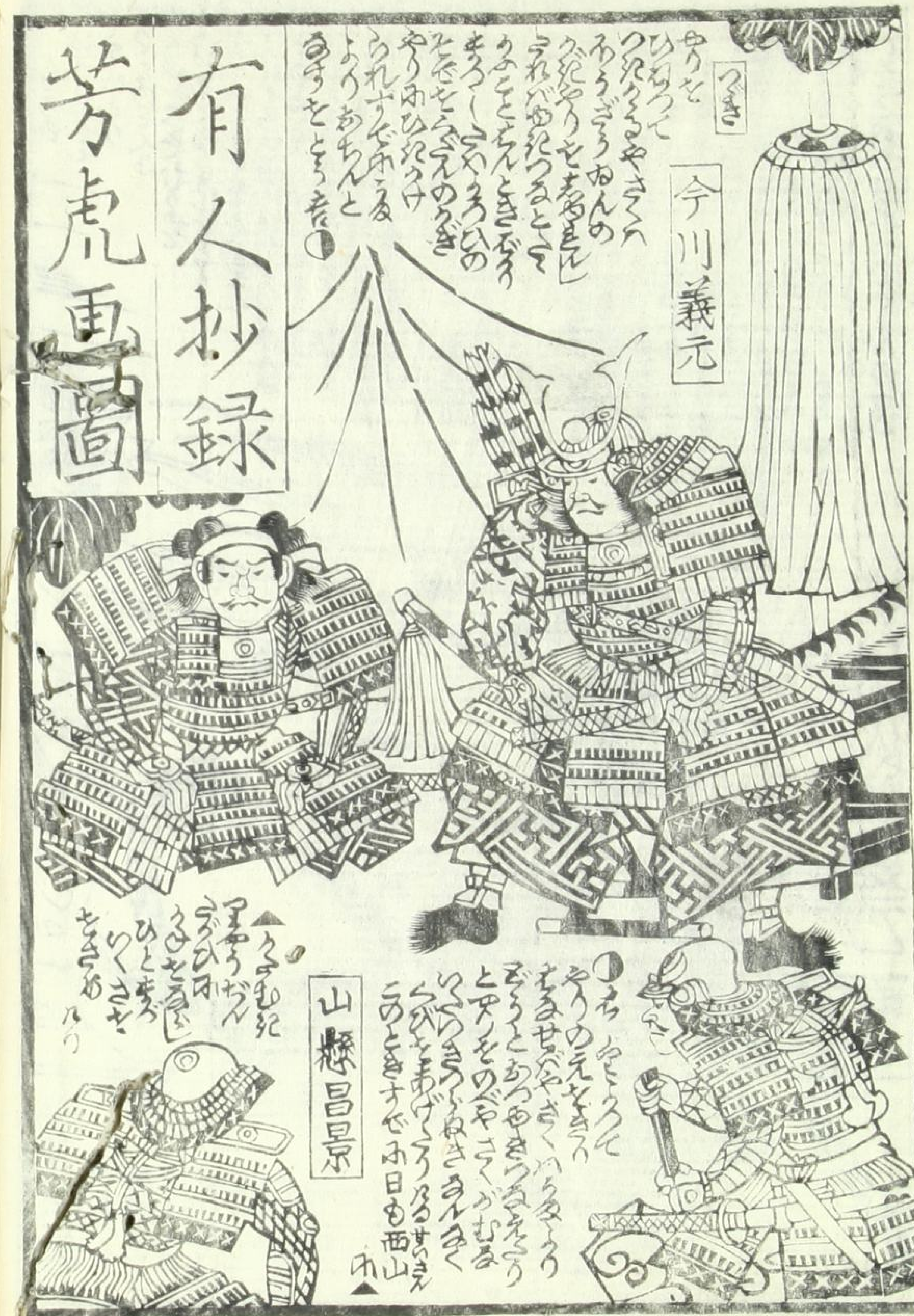
北條方先鋒
伊藤日向守
今川方先陣
朝比奈備中守

伊藤日向守

藤吉郎高吉


松下之綱
中村藤吉

伊藤弥作



紅木堂追刻目録

兼題夕霧 追善灯篭 文月娘伊左衛門（あとづきむすめいざゑもん） 初編より追々出板 文亭梅彦作 孟斎芳虎画

紀文大尽入船帳（きぶんだいじんいりふねちやう） 二編 万亭應賀作 三編 孟斎芳虎画

か祢そげぬ水茶 さらさ入代壱匁 ビン入弐匁より 全壱朱

[illegible]

地本艸紙問屋 両替町四丁目 木屋宗次郎板